

まえがき

「結婚相談所」と聞いて、あなたはどのような印象をお持ちになりますか。希望が見えますか。諦めが見えますか。自分で出会うことができなくて困ってしまった人が最終的に行くところ。結婚できないような人が在籍しているところ。紹介されたら、そう好きにならなくても急いで結婚に進ませられそうなどころ。そのように感じられる方が多くいらつしゃいます。たまたまご縁のあった結婚相談所の経営者に友人知人を紹介し、その活動方法や実際にその方たちが笑顔で婚約していく様を見るうちに、結婚相談所の会員は目的がはっきりしている人の集まりで、シンプルに成果を出せるシステムであることがわかりました。「結婚できない理由がある人」ではなく、たまたま今までご縁がなかったり恋愛が苦手だったり、また年齢や仕事の忙しさから自然に出会うのが難しい素敵な方が数多く在籍していらつしゃいます。私でもその方々のお役に立てるのではないかと思ひ、結婚相談所

をスタートしました。しかしお見合いによる婚活の効率のよさや、入会から数カ月で婚約される方が大勢いる一方で、それと同じ数の方が1年以上活動してもうまくいかず退会していかれる現実があります。私はその両方を見ることになったのです。そのうちに短期間で結婚相手と出会う方とそうでない方が使われる言葉や行動の違いが見えてきました。それは結婚相談所の中だけでなく日常生活の中での違いにもなっています。当然、出会いからお付きあいに進んだり、それが長く続いたり、そこから婚約する決め手にもなったりする言動があります。

この冊子に書いてあるのは、婚活に疲れて大切なことがわからなくなった方へのメッセージであり、出会った二人の関係をあたたく育てる方法です。そして、それは人としての生き方でもあります。結婚相談所は結婚できない人が登録しているのではなく、結婚したい人が自ら入会しお見合いして婚活をしています。お見合いに活用できるだけでなく、婚活がうまくいく人といかない人の行動や思考の違いを知ることができますし、無駄な時間を婚活に費やすことがなくなります。恋愛下手な方や同じパターンで恋に終わりが来る方、恋愛から結婚に進めない方、お相手が見つからない方、お付きあいから結婚に進めない

い方にもお役に立てると信じています。結婚とは人生の一部でしかありません。決して難しいことではありません。太古より男女は結び合いともに生き、子孫を育ててきました。

私は幼少の頃父親が創業した葬祭業を営む家で、物心ついた頃から毎日「死」を身近に感じながら育ちました。毎日人の死をみていると、「誰にでも終わりがある」と誰に言われなくてもわかります。私たちの命には終わりがありません。親しい人との別れの哀しみからは逃れられません。それがいつ来るのかもわかりません。「今、このときを大切にしたい」と、悟ったようなクールな感覚を子どもの頃から持っています。だからこそ人生を満喫したいのです。ご縁があつた皆さんにもそうあつてほしいのです。〃結婚とは、逝くときに「あなたと家族になれて、一緒に生きられてうれしかったよ。他人同士がつながって子どもも生まれたよ。どうもありがとう。また会おうね」と言うことができることです〃私はこれから結婚する人にも別れのときのことを堂々と発言してはばからない、結婚アドバイザーです。結婚するのは特別なことではなく、ごく当たり前のことです。相手を思いやりお互いを認めあうことで、自分の状況も一気に変わります。同時に、結婚しなければ不幸で結婚できない人はかわいそうだ、という考えから抜けだしましょう。人にはいろいろ

「な幸せのかたちがあり人生は自分で決められるのです。「今」の幸せを感じつつ生きる。そのように日々充実し前を向き自分の足で立つ人が魅力的でないはずありません。そんなあなたにピッタリの人生のパートナーと出会っていただきたいと思えます。

私の好きな言葉は「人生は一瞬のきらめき」です。一人ひとりが自分らしく輝き、何歳になっても恋心を持ちつつけながら生きられるようにお手伝いします。そして私もきらめきます。いつ終わりが来てもいいように。